

第56回 医学教育セミナーとワークショップ in 埼玉医大

開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。
第56回医学教育セミナーとワークショップは、埼玉医科大学と共同開催いたします。奮ってご参加ください。

埼玉医科大学医学教育センター 森 茂 久
岐阜大学 医学教育開発研究センター 藤 崎 和 彦

日程 2015年6月6日(土)～7日(日)

会場 埼玉医科大学 (毛呂山キャンパス)

WS-1 量的データを用いた医学教育研究のための統計解析 (初級編)

WS-2 デブリーフィングで振り返るシナリオベーストレーニング

－シナリオを作成しトレーニングを実体験する－

WS-3 社会医学的視点を取り入れた

地域志向型早期体験実習を企画しよう！

WS-4 SP大交流勉強会

WS-5 自分目線・相手目線・第三者目線の違いがわかる

ポジションチェンジ実習

WS-6 1歩先をいくサマリーの書き方・教え方

WS-7 現場で看護を育む – 1分間指導法Get！ –

セミナー 埼玉医科大学医学部の教員組織の改革

－医局講座制・教育業績評価はいかに変わったか－

2015
春

プログラム							
6日(土)	午後	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5	WS-6
	夕方	セミナー					
	夜	懇親会					
7日(日)	午前	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-7	

WS-1 量的データを用いた医学教育研究のための統計解析 (初級編)

企画： 椎橋実智男（埼玉医科大学）、大西弘高（東京大学）、菅沼太陽（東京女子医科大学）、丹羽雅之（MEDC）

日時： 6日（土）12:00-16:30、7日（日）9:30-13:00

概要： 統計は苦手、検定となるとはやはり何をどうして良いのか、という方もおられるでしょう。このデータはt検定で良いのか？あるいは順位和検定か？そもそもパラメトリックとノンパラメトリックの区別は？などなど、今更聞けないこともあるかも知れません。本WSは「医学教育や医学教育研究に興味はあるが統計解析はちょっと・・・」という方を対象とした、統計解析の初級編です。データの性質、確率モデル、帰無仮説から始めて、検定を中心に、パラメトリック、ノンパラメトリックな平均値の比較、3群以上の平均値の比較、相関係数、分割表の検定（カイ二乗・Fisher）、などについてやや多めの講義、グループワークを通して学びます。統計処理には統計パッケージを使用せず、エクセル™のみを使います。統計解析が得意でない方の参加をお待ちしています。

対象： 医学教育研究のための量的データの統計解析を初歩から学びたい教職員・学生

定員：30名

WS-2 デブリーフィングで振り返るシナリオベーストレーニング –シナリオを作成しトレーニングを実体験する–

企画： 辻 美隆・山田泰子・川村勇樹（埼玉医科大学）、阿部幸恵（東京医科大学）

日時： 6日（土）12:00-16:30、7日（日）9:30-13:00

概要： 患者さんの様々な変化に対応できる能力の習得とチーム医療における自らの役割の理解は実臨床の経験のみでは不十分である。また、近年、高規格シミュレータを用いたシナリオベーストレーニングが可能となったが、BLSやICLSなど講習会以外の場面では十分に活用されていない施設が多い。

そこで、本WSでは、チーム医療での患者対応能力の習得にシナリオベーストレーニングをどのように活用するかを検討する。卒前教育（対象：医学生・看護学生・その他のメディカルスタッフ（MS）養成学科の学生）、卒後教育（対象：①初期研修医・新人看護師・新人MS、②初期研修修了後の医師・数年目の看護師・MS）に分かれ、実際のシナリオ作成、作成したシナリオを用いた実演、評価・デブリーフィングを体験してもらう。高規格シミュレータの機能を十分に活用できるシナリオの作成法、効果的なデブリーフィングなどについてミニレクチャーを織り交ぜながら進行する予定である。

対象： シミュレーション医学教育に興味のある教員、医師、看護師、研修医、医学生、看護学生など

定員：20名

WS-3 社会医学的視点を取り入れた地域志向型早期体験実習を企画しよう！

企画： 柴崎智美・高橋幸子・森 茂久（埼玉医科大学）、新井利民（埼玉県立大学）、細谷 治（城西大学）、勝木祐仁（日本工業大学）

日時： 6日（土）12:00-16:30、7日（日）9:30-13:00

概要： 平成22年度医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂概要の中で、地域の医療を担う意欲・使命感の向上について記載された。その中で、「学生生活全般を通じて、学生に多様な現場で患者や地域の人々に接し、体験・実感させる機会を系統的に設け、信頼されるコミュニケーション能力や、地域の医療を担う意欲・使命感の向上に資する」ことが明示され、特に、「早期体験学習」「社会医学実習」「衛生・公衆衛生学実習」、「地域医療臨床実習」を段階的・有機的に関連付けて実施することが求められている。地域の社会資源を用いて、社会医学的な視点を取り入れた地域住民や多職種から学ぶ実習から学生は何を学ぶのかを共有するとともに、社会医学的な視点を如何に早期体験実習や専門職連携教育に取り入れるか、新しい学習プログラムを参加者の皆さんと作成したい。

対象： 医学、薬学、看護学などの早期体験実習や専門職連携教育を担当する、あるいは、関心のある教職員、学生

定員：20名

WS-4 SP大交流勉強会

企画： 藤崎和彦（MEDC）、有田和恵（埼玉医科大学）、阿部恵子（名古屋大学）

日時： 6日（土）12:00-16:30、7日（日）9:30-13:00

概要： SP大交流勉強会は、岐阜、徳島、東京、札幌、広島、千葉、沖縄、東京、そして前回は博多と全国各地で開催されてきました。今回は埼玉での開催です。1日目はSPさん同士による大交流会、2日目には演技や役作り、フィードバックについて学べる勉強会を予定しています。SP参加型医療コミュニケーション教育は共用試験を実施している医学、歯学、薬学だけでなく、看護やリハビリ、鍼灸などにも急速に拡大が続いています。全国の皆さん、是非、埼玉にお集まりください！

対象： 模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ

定員：60名

WS-5 自分目線・相手目線・第三者目線の違いがわかるポジションチェンジ実習

企画：米岡裕美（埼玉医科大学）、楯岡かおる（研修講師・NLPトレーナー）

日時：6日（土）12:00-16:30

概要：コミュニケーション教育は、今や医療、福祉の専門職教育においては不可欠なものとなっています。コミュニケーションをとる上で、特に傷病などで心身が弱っている状況にある人と、専門的な立場から関わる上では、相手への共感能力、患者目線で考えることが重要です。けれども、「専門職の立場から離れて患者の立場から考える」と口で言うのは簡単ですが、実際には難しいのではないのでしょうか。なぜなら、「患者さんはどう思っているんだろう？」この疑問を持つ時、実は専門職目線・自分目線になっているのです。さらに、相手目線、患者目線を自分で持つだけでなく、学生など他の人の能力として育てることは、よりいっそう大変です。

実は、この自分の立場を離れて、客観的あるいは相手の立場で考える能力を養うトレーニングの方法があるのです。本ワークショップでは、このトレーニング法—ポジションチェンジ—をまず実際に体験し、さらにその指導の基本となる考え方をお伝えします。そして実際に皆さんの教育指導の現場で、どのように取り入れられるのかを考えます。

ポジションチェンジを体験したい方、学生のコミュニケーション能力、共感能力をどうやって育てるのかお悩みの方、お待ちしております。

対象：専門職のコミュニケーション教育に関わる教職員、指導医、研修医、看護師、学生など

定員：30名

WS-6 1歩先をいくサマリーの書き方・教え方

企画：林 幹雄・稲葉 崇（筑波メディカルセンター病院）

日時：6日（土）12:00-16:30

概要：皆さんは日常診療でサマリーをどのように作成しているのか困った経験はありませんか？あるいは、学生や研修医のサマリーを指導する際にどのように教えているのか困ったという経験はありませんか？このセッションでは、日常診療でよく見かける事例をもとに、グループワーク形式で参加者の皆さんとサマリー作成あるいは指導のコツについて情報を共有したいと考えています。また、どのような研修を行えばより充実したサマリーが作成出来るのかについても、いくつかの引用文献をもとにディスカッションを行います。このセッションの終了時には、内科研修をより充実させるための参加者各人の目標が明確化することを目的としたいと考えています。

対象：医学生、初期～後期研修医およびその指導にあたる上級医（主な対象職種は医師）

定員：20～25名

WS-7 現場で看護を育む – 1分間指導法Get！ –

企画：谷口初美（九州大学）、任 和子・内藤知佐子・内海桃絵（京都大学）

日時：7日（日）9:30-13:00

概要：「いまどきの看護学生は？？」と臨床実習で学生指導に苦労している臨床指導者、教員は多いのではないのでしょうか？「臨床実習に臨む学生の態度！モチベーションの低さ！」「私の指導が悪いの？」と落ちこんでいませんか？学生が「臨床実習とっても充実！臨床実習って楽しい！」と感じさせる臨床指導をしてみませんか？いまどきの看護学生の解き明かしとアメリカの総合診療内科から生まれ、短い時間の中で、ポイントを押さえ効率良く指導でき、「意見や考えを聞く」ことに重点をおいた1分間指導法で導き、更にモチベーションを燃やす指導法を寸劇、ロールプレイ、グループワークを通して、貴方の特技にして臨床指導を共に楽しみませんか！

対象：臨床指導者、教員、看護師、助産師、保健師（本プログラムは、看護教員や看護職を対象としますが、その他の職種の方の参加も可能です）

定員：20名

セミナー 埼玉医科大学医学部の教員組織の改革 – 医局講座制・教育業績評価はいかに変わったか –

講師：土田哲也・椎橋実智男（埼玉医科大学）

日時：6日（土）16:40-17:30

概要：本学では平成18年度から新しい教員組織制度を導入し、従来講座主任教授がすべて統括していた教育、研究、診療の3本の柱を独立させ、自立的に機能することを目指した。教授や准教授等はその人物の資質を表す資格とし、機能上重視されるのは、個々の役割を表す教育主任、研究主任、診療部長といった職位である。教育は、講座（本学では基本学科）単位ではなく、コース・ユニット制で行われ、機能変更に柔軟に対応できるような体制になっている。また、日のあたることが少なかった教育への貢献を表す教育業績評価制度を構築し、教育への意欲を向上させる試みも行っている。本セミナーでは、本学におけるこれら教員組織改革の経緯、現状を述べる。

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2015年5月24日(日)

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円（資料代） 学部学生無料

懇親会費： 4,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。
資料代は、資料ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。
参加者には後日、報告書を送付いたします。（学部学生には報告書の送付はありません）

会場： 埼玉医科大学 毛呂山キャンパス

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
※会場の詳細は、後日ホームページに掲載いたします。

毛呂山キャンパス構内配置略図 平成27年2月現在

